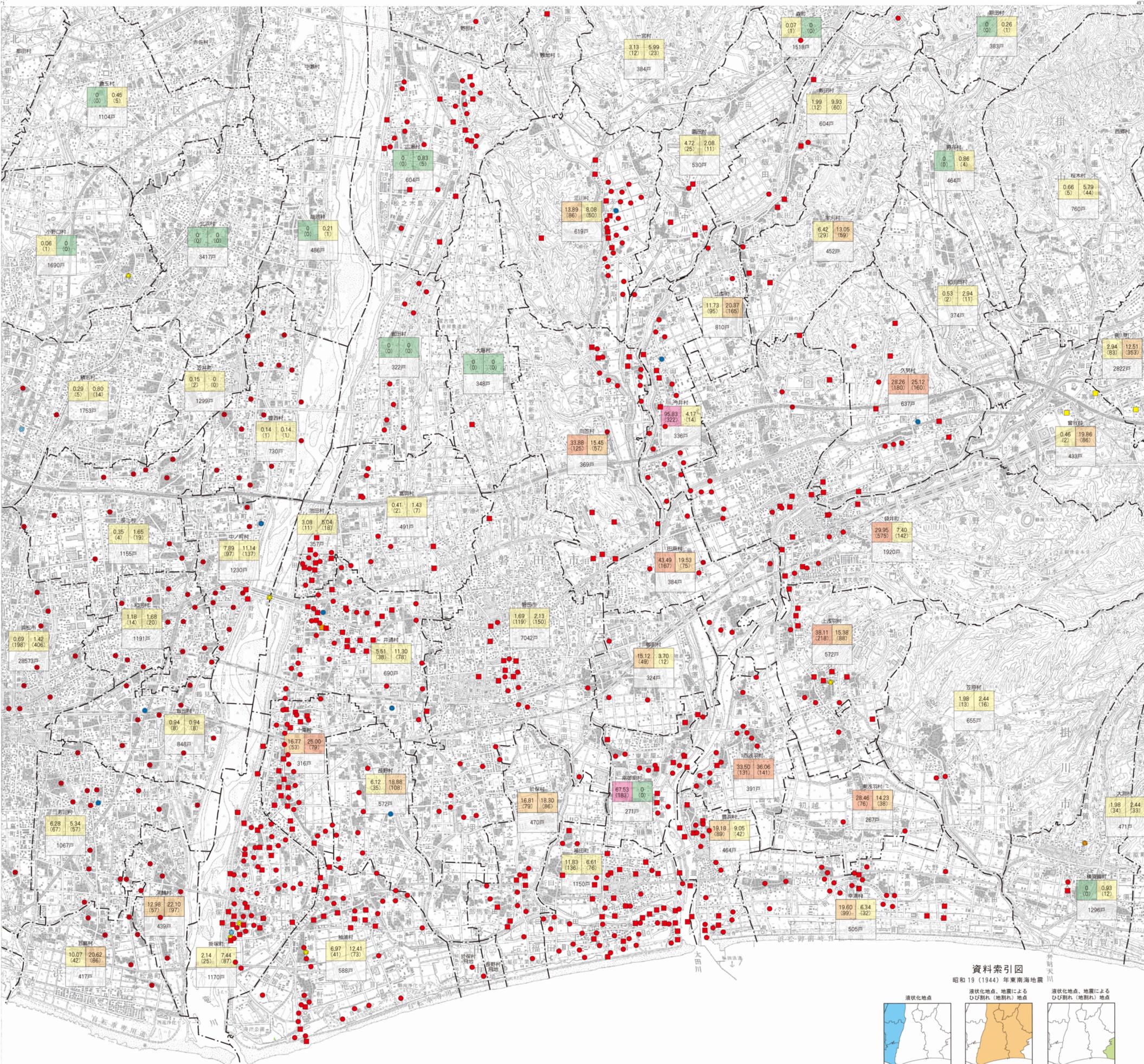


平成二十四年度調査

平成二十五年三月発行 国土交通省 国土政策局



1. 昭和19(1944)年東南海地震における建物被害 (資料①)

①全壊率(全壊戸数)
※全壊率=全壊数/全戸数

②半壊率(半壊戸数)
※半壊率=半壊数/全戸数

③全戸数

50.0%以上
25.0 - 50.0%未満
12.5 - 25.0%未満
0 - 12.5%未満
0%

【注】
本図の建物被害の上部には、災害発生当時の市町村名を表示している。図中で、市町村名のみが記載されているものについては、資料中に被害数の記載がないものを表しているが、実際には被害が生じた可能性がある。なお、本図に表示している市町村界は、災害発生時期に近い年代の状況を概ね参考資料により参考表示したものであり、災害発生当時の市町村界とは一致しない場合がある。

(その他)
--- 昭和25(1950)年の市町村界(資料②)

2. 液状化地点

I. 宝永4(1707)年宝永地震
● 集落名や町丁目など、地区名で特定される地点(資料③)

II. 嘉永7(1854)年安政東海地震、安政南海地震
● 町村名や大字など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点(資料③)

III. 安政2(1855)年地震(11月)
● 町村名や大字など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点(資料③)

IV. 明治24(1891)年濃尾地震
● 町村名や大字など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点(資料③)

V. 昭和19(1944)年東南海地震
● 町村名や大字など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点(資料③)

● 善地や集落内の小字名など、地点に近い情報で特定される地点(資料③)

● 液状化発生地点(資料⑤⑥)

(参考)
地震によるひび割れ(地割れ)地点
● 宝永4(1707)年宝永地震(資料④)
● 嘉永7(1854)年安政東海地震(資料④)
● 昭和19(1944)年東南海地震(資料⑤⑥)

【資料】

①大庭正八、1944年12月7日東南海地震に見られた遠江地方の家屋被害分布と地震との関係、東京大学地震研究所業務、第35冊、第1号、1957、p.240-292

②国土交通省、国土数値情報 行政区域データ(昭和25年)、2010

③若松加寿江、日本の液状化履歴マップ 745-2008、東京大学出版会、2011、製品シリアル番号:JLMO973

④静岡県地震対策課、静岡県地震対策基礎調査報告書、1978、p.42-44、62

⑤中部建設協会浜松支所、天竜川 治水と利水、中部地方建設局浜松工事事務所、1990、p.82、84

⑥東南海地震記録編集委員会、昭和19年東南海地震の記録、静岡県中遠振興センター、1982、p.216

摘要

1. 経緯度の基準は世界測地系
2. 撮影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
3. 作業機関 昇寿チャート株式会社
4. 背景地図 数値地図50000(地図画像) 磐田 平成20年修正 掛塚 平成3年修正
5. 対応する二次メッシュコード 513776, 513777, 523706, 523707, 523716, 523717

資料索引図
昭和19(1944)年東南海地震

液状化地点、地震によるひび割れ(地割れ)地点

液状化地点、地震によるひび割れ(地割れ)地点

液状化地点、地震によるひび割れ(地割れ)地点

【資料】
③若松加寿江、日本の液状化履歴マップ 745-2008、東京大学出版会、2011、製品シリアル番号:JLMO973

⑤中部建設協会浜松支所、天竜川 治水と利水、中部地方建設局浜松工事事務所、1990、p.82、84

⑥東南海地震記録編集委員会、昭和19年東南海地震の記録、静岡県中遠振興センター、1982、p.216

行政区画

索引図

三河大野 天竜 家山 (静岡)
浜松 磐田 掛川
掛塚 御前崎 (御前崎)

()内は所属20万分1地形図名

静岡県
1. 浜松市 2. 磐田市 3. 袋井市
4. 掛川市 5. 周智郡